

平成 年 月 日

参加申込書

当社は、平成30年度東京都「ミドル・バックオフィス業務の外部委託費用」に係る補助金に関する「認定受託者」として認定されることを希望いたします。そのため、選定委員会に参加いたします。

会社名		
所在地		
代表者	印	
担当部署		
担当者（職・氏名）		
連絡先	電話番号	
	FAX	
	Eメール	
URL		

誓約書

東京都知事 殿

平成30年度東京都「ミドル・バックオフィス業務の外部委託費用」に係る補助金に関する「認定受託者」認定の申請を行うに当たり、当該申請により事業に従事する者（法人その他の団体にあつては、代表者、役員又は使用人その他の従業員若しくは構成員を含む。）が東京都暴力団排除条例第2条第2号に規定する暴力団、同条第3号に規定する暴力団員又は同条第4号に規定する暴力団関係者（以下「暴力団員等」という。）に該当せず、かつ将来にわたっても該当しないことをここに誓約する。

あわせて、知事が必要と認めた場合には、暴力団員等であるか否かの確認のため、警視庁へ照会がなされることに同意する。

年 月 日

住所

氏名

印

* 法人その他の団体にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名を記入すること。

平成 年 月 日

応募者の概要及び応募理由

第1 応募者の概要				
1 組織概要				
(1) 事業内容				
(2) 業歴・履歴				
(3) 過去3期の決算状況と今期の見込み				
	年 月期	年 月期	年 月期	年 月期(予)
売上高				
売上総利益				
営業利益				
経常利益				
当期純利益				
総資産				
借入金				
純資産				
説明				
(4) 組織体制				
(5) コーポレートガバナンスに関する体制整備の状況				
(6) 役員の経歴				
役職名	氏名	経歴		

2 能力及び実績

(1) 資産運用業のミドル・バックオフィス業務受託に関する運営能力

- ア 受注が可能なミドル・バックオフィス業務
- イ ミドル・バックオフィス業務受託に関する手数料の種類とその計算方法の考え方
- ウ 業務運営に対するノウハウ、専門知識、その他アピールできる能力等
- エ 認定EM等について暴力団等の反社会的勢力を排除する方法（考え方）

(2) 資産運用業のミドル・バックオフィス業務受託に関する実績（子会社等への再委託・再委任を含む）

ア 平成29年度末のミドル・バックオフィス業務受託実績（運用会社、ファンド件数、AUM） 運用会社数が15社を超える場合はAUM額上位15社を記載

運用会社（匿名可）	ファンド件数	AUM（単位：百万円）

イ 直近1年間の新規取引実績、今後の受託予定一覧表

運用会社（匿名可）	実施（予定）年月	予定金額（単位：百万円）

第2 「認定受託者」への応募理由		
1 応募理由及び取組方針		
(1) 応募理由		
(2) 新興資産運用業者支援への取組方針		
2 取組体制		
(1) 担当者数と役割分担		
(2) 主たる担当者の業務経歴		
第3 業務フロー		
1 業務フロー図		
2 業務フロー内の各業務についての説明		

- 1 「応募者の概要及び応募理由」を記載する上での前提
 - (1) 東京都の公金を原資とする補助金を活用するため、要件確認、報告及び検査といった必要手続に協力すること
 - (2) 東京都の認定受託者として、ミドル・バックオフィス業務を適切に受託、運営するといった観点から作成すること
- 2 注意事項
 - (1) 記載に当たっては、上記項目を全て盛り込むこと
 - (2) 資料の作成等、応募に必要な経費は応募者の負担とする。
 - (3) 提出書類は、いずれも返却しない。不要となった書類の廃棄については、東京都が責任をもって行う。
 - (4) 必要と認める場合には、追加資料を徴求することがある。
 - (5) 提出書類に虚偽の記載があった場合は失格とする。
 - (6) 様式は任意とするが、記載内容の項番等（項番の順序を含む）については、上記の通りとする。
 - (7) 第3-1は、「別紙4 業務フロー図」に記載すること
 - (8) 東京都が必要資料を別途明確に要求した場合を除き、書類提出期間後の追加資料提出は一切認めない。

業務フロー図

「資産運用業者」と「応募者」間の業務フローについて記載のこと

<日次処理>

<決算償還処理>

<その他業務>

平成 年 月 日

育成事業実績報告書（四半期報告書・年次報告書）

会社名

代表者

印

1 報告対象期間

平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

2 報告内容

- (1) 当該期間に新規に業務を開始した認定EM等の数 _____ (件)
- (2) 当該委託期間中に認定EM等が
負担した事務委託費用総額 _____ (千円)
- (3) 報告期間末時点での受託残高 (AUM) _____ (億円)
- (4) 報告期間末時点での認定EM等からの受託残高 (AUM) _____ (億円)
- (5) 報告期間末時点での受託件数 _____ (件)
- (6) 報告期間末時点での認定EM等からの受託件数 _____ (件)

平成 年 月 日

認定EM等からのミドル・バックオフィス業務受託に関する費用の報告書

会社名

代表者

_____ 印

1 報告対象期間

平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

2 受託費用受取額等

認定EM等 (委託者名)	受託済みファンド (件数)	報告対象期間中受取済の費用 (円)